

昭和新山国際雪合戦

ジュニア交流戦で虻小Aシューターズが優勝

第30回昭和新山国際雪合戦が、3月24日、25日の2日間にわたって142チーム、約1,500人が参加して開催されました。

ジュニア交流戦では、虻小Aシューターズが優勝。決勝戦では、3セットを終えて同点で、2巡目のビクトリースローにまでもつれ込む大接戦の末、岩手県の湯田レーダーズを破りました。主将の佐藤梨稀哉くんは「この仲間ですべて優勝できてうれしい」と喜んでいました。

その他の部門では、一般の部に参加した町内チーム AS・SC が準優勝し、レディース部では、MISKY. が3位となりました。



ジュニア交流戦 優勝
虻小Aシューターズ



一般の部 準優勝 AS・SC レディースの部 3位 MISKY.



各地域で敬老を祝う

敬老を祝う催しが成香と大原で行われ、75歳以上の高齢者が食事や余興などで長寿を祝い、交流を深めました。敬老の日の9月は、農繁期で忙しいため、農閑期のこの時期に長寿の祝いを行っています。

2月20日には大原地区女性部が主催する「大原敬老会」、3月24日には成香自治会が主催する「成香長寿まつり」が行われました。



大原敬老会



成香長寿まつり

ポロモイスタジアムは、サッカーでの利用者が大半ですが、サッカー以外のスポーツや運動の他に小学

ました。期が春休みということもあり、まだまだ雪が残っている旭川や網走など遠方からの利用者も多数訪れ、とても賑やかなオープンとなりました。

積り、雪解けが心配されてきた地域ですが、今年も多くの人たちの除雪の協力で、無事オープンにこぎつけました。当日は、開業時期が春休みということもあり、まだまだ雪が残っている旭川や網走など遠方からの利用者も多数訪れ、とても賑やかなオープンとなりました。

が、3カ月半ほどの閉鎖期間を終え今年も3月21日から業務を開始しました。月浦地区は、比較的雪が少ない地域といわれる洞爺湖町の中で、毎年雪が多く



雪解けを楽しみに選手たちが集ったポロモイスタジアム

地域おこし協力隊



通信

vol.1

今月のリポーター
秦野孝慎さん



昨年4月1日に新設した洞爺湖町月浦運動公園「ポロモイスタジアム」

校・保育園の学校行事でも活用されています。

今年度もサッカーに限らず多種多様な形態で、町内や近郊だけでなく遠方からもたくさんの方に活用してもらい、洞爺湖町をどんどん盛り上げていきます。